

- 問1 5世紀ごろ、大和政権（ヤマト王権）の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。 （2019年 愛媛県公立入試 類似）
1. 聖徳太子                      2. ワカタケル大王                      3. 卑弥呼                      4. 中大兄皇子
- 
- 問2 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 （2021年 群馬県公立入試 類似）
1. 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた                      2. 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた                      3. 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた                      4. 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた
- 
- 問3 古墳時代の日本において、朝鮮半島から伝えられた技術によって作られるようになった、高温で焼成される灰色の硬い土器を何と言いますか。 （2023年 新潟県公立入試 類似）
1. 埴輪                      2. 弥生土器                      3. 須恵器                      4. 縄文土器
- 
- 問4 5世紀ごろ、朝鮮半島における勢力争いや戦乱を避けて日本列島へ移住し、須恵器の製作や金属加工、土木などの高度な技術、および漢字や儒教を伝えた人々を何と呼びますか。 （2026年 高知県公立入試 類似）
1. 防人                      2. 渡来人                      3. 朝鮮通信使                      4. 倭寇
- 
- 問5 埼玉県の稲荷山古墳から「大王」という称号が刻まれた鉄剣が出土した事実は、当時のヤマト政権の支配状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。 （2016年 高知県公立入試 類似）
1. 律令に基づいた中央集権国家が完成し、全国に役人が派遣されていたこと                      2. 関東地方の豪族が、中国の皇帝から日本全体の支配権を認められていたこと                      3. 仏教の布教活動を通じて、全国の豪族が精神的に統一されていたこと                      4. 近畿地方を中心とする政権の勢力が、関東地方にまで及んでいたこと
- 
- 問6 大陸から漢字、儒教、仏教などが伝えられた時期の日本において、新たに生産が始まった須恵器の特徴とその背景について述べた説明として、正しいものはどれか。 （2023年 高知県公立入試 類似）
1. 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。                      2. 中国からの使者が技術を伝え、平らな地面に薪を積み上げる「野焼き」によって低温で焼成された。                      3. 国内の農民が独自に技術を開発し、「千歯こき」を用いて土を精製することで作られた。                      4. 弥生時代からの伝統的な製法を守り、稲作の普及とともに東日本を中心に広まった。
- 
- 問7 5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。 （2019年 群馬県公立入試 類似）
1. 青銅                      2. 銅                      3. 金                      4. 鉄
- 
- 問8 古墳時代中期（5世紀後半）におけるヤマト政権（大和政権）の勢力圏の広がりを説明する記述として、最も正しいものはどれですか。 （2020年 和歌山県公立入試 類似）
1. 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。                      2. 仏教を政治に取り入れた聖徳太子が、全国に国分寺を建てることで、九州から関東までの地方組織を直接支配していたことがわかる。                      3. 近畿地方を中心に巨大な前方後円墳が作られ始めたことから、この時期にはすでに東北地方まで完全に統一されていたと判断できる。                      4. 『魏志』倭人伝に記された女王の朝貢記録により、中国から認められた政権が全国の地方豪族を完全に服従させていたことがわかる。
- 
- 問9 朝鮮半島における高句麗、百済、新羅の三国抗争期において、日本（倭）の動向や影響について説明した文として最も適切なものを次から選びなさい。 （2024年 滋賀県公立入試 類似）
1. 朝鮮半島からの渡来人が、須恵器の製作技術や漢字、儒教などを日本に伝えた                      2. 秦の始皇帝が派遣した軍隊と協力し、高句麗の南下を阻止した                      3. オランダとの貿易を優先するため、朝鮮半島諸国との国交をすべて断絶した                      4. ナポレオンの軍勢による混乱に乗じて、朝鮮半島全域を直接支配した
- 
- 問10 埼玉県の稲荷山古墳から出土した、表面に「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」という文字が金色の象嵌で刻まれた遺物について、その名称として正しいものを選んでください。 （2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 鉄剣                      2. 金印                      3. 銅鏡                      4. 埴輪
- 
- 問11 仏教が伝来し寺院が建立されるようになる以前の時代、各地の有力者が自らの権威を示すために築いた、土を高く盛り上げた巨大な墓を何と言いますか。 （2022年 岡山県公立入試 類似）
1. 都                      2. 古墳                      3. 貝塚                      4. 環濠集落
- 
- 問12 4世紀ごろから大和政権と密接な関係を築き、朝鮮半島の南西部に位置していた国を何と言いますか。この国は、五経博士による儒教の伝達や、日本への仏教伝来など、大陸文化を日本へ伝える窓口としての役割を果たしました。 （2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 百済                      2. 新羅                      3. 高句麗                      4. 魏
- 
- 問13 古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治的状況を物語っていますか。 （2016年 富山県公立入試 類似）
1. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況                      2. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況                      3. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザインの鏡を輸入した状況                      4. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況
- 
- 問14 大仙古墳に代表されるような、非常に広大な面積を占める巨大な前方後円墳が、5世紀ごろの近畿地方を中心に築かれた歴史的な背景を述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 朝鮮半島からの渡来人が、大陸での一般的な墓の形式である前方後円墳の技術を伝えたため。                      2. 中国の律令制度を模範とした国づくりが始まり、天皇の墓を規格化することが定められたため。                      3. ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。                      4. 仏教が伝来したことで、死者を供養するための大規模な寺院建築の技術が導入されたため。